

## 【足立区地域自立支援協議会こども部会】会議概要

会議名	令和3年度 【足立区地域自立支援協議会こども部会】
事務局	福祉部 障がい福祉センター
開催年月日	令和3年11月30日（火）
開催時間	午後2時00分 ～ 午後4時00分
開催場所	障がい福祉センター 5階ホール
出席者	別紙のとおり
欠席者	なし
会議次第	1 開会 事務局より 障がい福祉センター所長挨拶 2 議事 (1) 部会長挨拶 (2) 議題を踏まえての討議（アンケートを踏まえて） 3 事務連絡
資料	1 こども部会次第 2 座席表 3 アンケート集計 4 東京都立花畑学園パンフレット 5 ねっとワーキングチラシ 6 「ペアレント・メンター」とは 7 キャラバン隊のご案内
その他	

## 【司会】

本日はご多用のところお集りいただきありがとうございます。

私は司会を務めます障がい福祉センター幼児療育係長の勝田でございます。よろしくお願いたします。

### —資料確認—

資料の確認をさせていただきます。

- 1 こども部会次第
- 2 座席表
- 3 アンケート集計
- 4 東京都立花畑学園パンフレット
- 5 ネットワーキングチラシ
- 6 「ペアレント・メンター」とは
- 7 キャラバン隊のご案内

となっております。

不足している資料等ございましたらお知らせ下さい。

それでは、お時間となりましたので、『地域自立支援協議会 こども部会』を始めさせていただきます。

この度は新型コロナウイルス感染症の拡大が気になるころではございますが、感染症への対策を十分に行いながら、開催をさせていただくこととなりました。大変恐縮ではございますが、ご了承いただければと思います。

今年度の本会議が2月28日にございますので、本日はそれに向けて2年間で検討された成果と課題のまとめの会となります。

この自立支援協議会は発言等会議内容及び発言者名など後日議事録を公開いたします。また議事録作成のため、録音をさせていただきます。ご了承願います。

それではまず、障がい福祉センター所長高橋より挨拶をさせていただきます。

## 【高橋委員（障がい福祉センター所長）】

障がい福祉センター所長の高橋です。

新型コロナウイルスについては、今は治まっているものの、オミクロン株など心配も多くあります。感染対策を十分に行いながら、開催していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

### (1) 部会長挨拶

#### 【小谷部会長（東京未来大学）】

小谷です。東京未来大学の心理専攻で准教授です。発達障がいを抱えている学生もいます。コロナ禍で、そういう学生に向けて個別にオンラインで支援するようになったことなど、良い方向になっていることもあります。

### (2) 議題について協議（アンケートを踏まえて）

#### 【小谷部会長（東京未来大学）】

子育て支援センターの話題、連携が聞かれるようになっていきます。アンケート結果を踏まえながら、切れ目のない支援を各団体でお話ししていただきたいと思っております。まずは新規の方のみ、先に自己紹介をしていただければと思います。

#### 【川松委員（ねっとワーキング）】

ねっとワーキングの川松です。昨年度の委員から変更となりました。

#### 【辰田委員（足立児童相談所）】

足立児童相談所の辰田です。本会議の委員も兼ねて参加いたします。

#### 【佐藤委員（手をつなぐ親の会）】

手をつなぐ親の会の佐藤です。知的障がい者の親の会となります。

#### 【小長井委員（肢体不自由児父母の会）】

肢体不自由児者父母の会の小長井です。中学生となり、だんだん接し方が難しくな

ってきました。

【松崎委員（北療育センター城北分園）】

北療育センターの松崎です。今年度から人事異動でこちらに配属となりました。

【加藤委員（新田小学校）】

新田小学校の加藤です。学校の構成は、小中で1000人超えています。第2校舎の担当です。

【小谷部会長（東京未来大学）】

皆さんにお出しいただいたアンケートを基に連携についてのお話をさせていただきます。

保育園の第三者評価委員をしていた時に、「私が虐待していると通報されたかもしれない」と話された方がいた。本来は本人には知らせないはずなのですが……。虐待と障がいについては、無関係ではないかと思われれます。

【辰田委員（足立児童相談所）】

療育手帳取得の支援、発達相談、虐待については、疑われる時も含めて通告を受けて受理する。周辺の調査もするが、48時間以内に直接見て判断することが必要となる。通報される方も傷つくのでそこもフォローする必要があります。通報者に対しても守秘義務があるのですが、場合によっては通報者が限定されてしまうこともあります。こちらは絶対に伝えないこととなっています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

ゼミの学生が、人手がないと言われ、放課後等デイサービスで車での送迎をしているそうです。学生がそこまでしていいのか疑問を持ちました。そして自宅に行ったら親がいない。「玄関を開けているから、降ろしていい。」と電話で言われ、そのまま一人で家

に置いてきてしまったそうです。その後、近所の方が通報し保護されたらしく、学生はほっとしたということだったのですが、人手がない等の理由もあり、劣悪な対応の放課後等デイサービスもあるのでしょうか。

【金子委員（まつぼっくりツリー）】

現場はどこも人手不足でとなっています。そのような事業所もあるのかと思いますが、うちは留守時には連れて戻る契約となっています。そうしないといなくても送ってくれるのが当たり前になってしまうと思います。

都は放課後等デイサービスは預かりだけではなく、自立を促す役割があると言っています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

放課後等デイサービス事業所と学校との連携はありますか？

【古里委員（花畑学園）】

課題がありそうな生徒についてはコーディネーターと情報収集をしています。援護係とも連携を取っています。

【増田委員（東綾瀬保育園）】

保育園でも急にお迎えに来れないことがあります。子どもの傷は保護者に伝えてから通告したことも、伝えずに通報したこともあります。保護者からの相談で通報するなど、その時その時にその家庭を見ながら対応しています。さまざまなケースが沢山あります。

【高橋委員（民生児童委員）】

民生児童委員としては、虐待のケースなどはあまりないです。秘密厳守での対応はしています。

【寺山委員（つくし幼稚園）】

虐待のケースについては、通告義務がある

ことを親に伝え、傷がある時には先に教えてくださいと言っています。傷を見つけた時に子どもに聞いて、言い淀んでいるなど様子が気になる時にはこども支援センターげんきに相談しています。保護者には最初に言うておくと声をかけやすいです。「子ども最近怪我しやすいんじゃない？」など声をかけています。

幼稚園も人手不足です。小規模の保育所から入園してくる子どもが多いのですが、親にとってのサービス（親がいなくてもおいていくような）を求められる時があります。

【小谷部会長（東京未来大学）】

聞くところによると、待機児対策で保育園が急増したので、空きのある保育園があると聞いています。

【辰田委員（足立児童相談所）】

毎日のようにいろんな児童の虐待通報や、相談の連絡が来ます。私たちにできる対応があるので、連絡をいただくと助かります。通報があったら、必ず調査しなければならないことになっています。親に聞けない場合には子どもに聞けたら聞き、傷があればその箇所の写真も撮って欲しいです。

【小谷部会長（東京未来大学）】

自傷行為の子どもや親のしつけなどで傷があるケースへの対応はどうするのでしょうか？

【酒井委員（うめだあけぼの学園）】

通報義務はあるので、見つければ児童相談に通報します。通報できないケースの方が心配です。放課後等デイサービスの学生は車の運転は運営上は可能ですが、それでも家族がいない時に車から降ろしてはいけませんが、18歳ならどうなのか？など、このように事例を検討していければいいと思います

す。裏話だが見過ごしてはいけないものもあります。運営にもかかわるし子どもの命にもかかわります。監査をしても現れない。本当はあってはいけない裏話を拾っていくことで、この地域だけでもなくしていけないといけない。

【小谷部会長（東京未来大学）】

学生の運転については、やはり問題があると思います。

【小長井委員（肢体不自由児父母の会）】

自宅でも福祉車両ですが、ロックがかかっておらず車いすが前のめりになったことがあります。ロックがかかかっていても急カーブはかなり揺れます。また、携帯のタイムラインでは親が自分の子どもの悪口を載せていることがありました。当時の担任のせんせいに相談しましたが、なかなか改善しなかったです。その保護者はメンタルが弱い方でしたが、虐待をしてしまう気持ちもわかる時もあります。

【川松委員（ねっとワーキング）】

当方のペアレント・メンター事業を利用される方は、実情はわかりませんが、幸い、虐待までに至らずに相談してくれていると感じます。私は息子が2人いて、1人は重度知的障がいがあり、小中高と特別支援学校を経て今は特例子会社で働いています。もう1人は知的には問題ない発達障がいでも中高一貫校に通い、大学を経て企業に就職しています。知的に障がいがない子のほうがなんの支援も受けられず辛いこともありました。小さい頃は、育てにくくて虐待で通報されるかもと恐れるような叱り方をしたことも、今だから言えますがありましたね。

また、ねっとワーキングの相談もそうですし、周りの話を聞いてもコロナ以降、不登

校が増えていると感じています。グレーゾーンにいる発達障がいの方も多いのかな？とも感じます。

【辰田委員（足立児童相談所）】

障がいの受容が必要になります。なぜ支援を入れていくか？としては、通報は監視ではないので、親は孤独の方も多いので、他機関との連携をしていく必要があります。

【小谷部会長（東京未来大学）】

発達障がいの疑いの元学生が、パワハラを受けて退職してしまいました。親の指示で録音しており告発したそうです。いろいろなことを経験して、親から少し自立してきたかもしれないです。

【浅輪（障がい福祉センター）】

前職はげんきにおりました。不登校のお子さんについては、検査をして発達障がいとわかり、それまで大変だったであろうと思う方はいます。今は発達障がい理解されやすくなってきました。診断がつく、つかないではなく、不登校の背景は何なのか？を踏まえて、げんきと連携し支援していければと思います。

【小谷部会長（東京未来大学）】

飛鳥未来高校など、同じ法人で通信制の学校を運営しています。大学でもオンラインをやってみて、不登校で学校を休んでいる子が、オンラインでは「楽しく授業できている」ということもわかりました。その子に合うスタイルがあるのだなと思いました。

【松崎委員（城北分園）】

児童相談所に相談できればいいが、グレーゾーンの子については、学校の先生に託すしかない。虐待を社会的養護した時にも新しい環境にすぐ慣れる訳ではなく、里親制度も利用しているが、なかなか間に合わな

い。東京はまだ資源が多くていいが、地方へ行くにつれて難しい。

【小谷委員（東京未来大学）】

コロナの影響についてはいかがでしょうか？

【古里委員（花畑学園）】

先日初めて保護者が学校に来る機会を持た。今まではPTAの集まりができず、親同士も話す機会を持たずにいました。落ち着いてきたので、たくさんの機会を持ちたいと思っています。

【増田委員（東綾瀬保育園）】

地域連携として行っている私立保育園、小学校との交流が昨年度はできなくなりました。保育参観は人数制限をして対応しています。交流体験は以前のようにできていません。

医療的ケア児については、それぞれモデル園3園に1名ずつおり、園の看護師が対応し、コロナの影響なく通園しています。当園にも1名通園しています。保護者の方も今から就学に向けて準備を進めています。園には0歳から6歳までの、様々な発達のお子さんが通っています。

【佐藤委員（手をつなぐ親の会）】

うめだあけぼの学園に入ったころは措置だったり、養護学校が特別支援学校になったりと法律がいろいろ変わった時期でした。地域の小学校に連れて行ったりして交流しました。1歳半検診でひっかかり、月に1回あしすとに通って言葉の訓練などを受けました。

【小谷部会長（東京未来大学）】

どのような支援があったらよいと思われませんか？

【佐藤委員（手をつなぐ親の会）】

その後あけぼのに通えたので、我が子が重度だという意識はありませんでした。

【小谷部会長（東京未来大学）】

うめだあけぼのに通えるのは特別なのでしょうか？どのような支援が受けられますか？

【酒井委員（うめだあけぼの学園）】

今は児童発達支援センターとなっています。以前は知的障害通園支援でした。今は親が支援を選べる時代となりました。「切れ目のない支援」と言われていますが、年齢が来ると児童発達支援事業所は切れてしまいます。それを繋ぐのは人だと思います。機関の外にいる人ができることもあります。

【小長井委員（肢体不自由児父母の会）】

我が家は双子だったので発達の差がわかり、脳性麻痺とわかるのが早かったです。福祉制度があり恵まれていると感じることもあります。

【小谷部会長（東京未来大学）】

20人に1人が何らかの発達障がいを持っていると言われてますよね。

【寺山委員（つくし幼稚園）】

相談先が多忙すぎると感じます。あけぼの、あしすとどちらもとても混んでいると思います。

【酒井委員（うめだあけぼの学園）】

（相談先が多忙なのは）足立区だけではなく全国での問題となっています。こどもの発達を診断できる、更に生活支援をしてくれる医師が少数であるのが問題だと思います。支援するこどもの数が急増しているのに、支援者も足りていないです。

【寺山委員（つくし幼稚園）】

まさにそうですね。現状は連携先が足りないのです、私たちがスキルアップしてでき

ることをやっていきたいと思っています。

うめだ・あけぼの学園でやってくれていた研修もコロナで実施がないので、園内で研修をしています。

【小谷部会長（東京未来大学）】

発達障がいの情報がすごい速さで進んでいます。次々に変わってきており、学生に何を教えていいのかと整理が追いつかない時があります。

【酒井委員（うめだあけぼの学園）】

教育現場はここ10年でものすごく進んできています。福祉の学生と特別支援教育との連携は当たり前となっていて、とても進歩を感じています。

【松崎委員（城北分園）】

少年院には一定数発達障がいを抱えている子どもたちがいます。適切な医療を受けられれば、こうなっていないかも知れないと思うことがあります。ただ、医療を受ける機会があったとしても、親が拒否する場合があるので、その辺りは難しいところかと思っています。

【金子委員（まつぼっくりツリー）】

小谷先生の学生さんが、放デイに対して疑問を持っているという話を聞き、とても申し訳なく思っています。そんな事業所ばかりではないのですが、いろいろな事業所があります。やはり連携が大切と感じています。子どもを中心にしながらも、親にも困り感があり、園で見られるようなことは家庭でもあると思うので、うまく伝えていける環境があるといいと思います。

【川松委員（ねっとワーキング）】

当法人は2016年からペアレント・メンターの委託事業を開始しましたが、当初、期待されていた役割は、相談したい方がどこか専

門機関につながるまでの待ち時間などに、お話を聞くところとしてのスタートでした。実際にはすでにどちらかにつながっている方がお話にみえる場合が多いですが、困っているケースがあれば、ぜひご紹介いただければと思います。このところは相談機関から相談に乗ってほしいと連絡が来ることもあります。専門機関ではないので、傾聴が主となることをお伝えしたうえでご案内しています。

【寺山委員（つくし幼稚園）】

アンケートでいろいろと出てきているので、ここから活用できることもあるのではと思います。

【小谷委員（東京未来大学）】

勉強会などできたらよいですね。お配りしたアンケートは記入者が無記名となっていますが、それだとわかりにくいので、名前を記入したものをあらためていただけると良いと思います。名前を出さないことを希望される方は事務局までお知らせください。

【高橋委員（障がい福祉センター所長）】

大変勉強になりました。切れ目のない支援ができるよう、今後も協力していきたいと思っています。

【佐藤委員（手をつなぐ親の会）】

初めて参加してうちの子の話が中心となってしまいましたが、会員さんのお子さんの話も伝えられたらと思いました。

【小長井委員（肢体不自由児父母の会）】

たくさんの方の話を聞いて、困っているのは一人じゃないとあらためて感じました。

【酒井委員（うめだあけぼの学園）】

このような多様な人々の集まる機会を持てたことはとても素晴らしかったと思います。今後、難しいケースの事例検討ができれば

と思います。民生委員の方にも何かできることをと考えると、地域の、例えば近隣のスーパーの人にもお子さんのことを知ってもらうことが大切だと思います。

実際のケースを活用してみんなでアイデアを出せたらよいと思います。

【松崎委員（城北分園）】

過去の虐待での死亡ケースの記録を見ると、連携が少なかったということが毎回あります。個人情報もあるかと思いますが、連携が必要です。足立区は女子医大もできるので、より医療と連携できるのではないのでしょうか？

【古里委員（花畑学園）】

医師が参加すると良いかと思います。人材研修もしていきたいです。

【加藤委員（新田学園）】

初めてであまり意見が言えませんでした。放課後等デイサービスや幼稚園の方と話をすることはありますが、どこにつなげていけばよいかなど、詳しい話を聞きたいと思いました。

【増田委員（東綾瀬保育園）】

今年度から医療的ケア児を預かるようになり、いろいろな立場の方の意見を聞く機会を持てるようになりました。

【高橋委員（障がい福祉センター）】

貴重なご意見をありがとうございました。連携の重要性をあらためて感じているところでございます。今期はコロナの影響もあり、なかなか開催することができませんでしたが、ご協力をいただき大変感謝しております。ありがとうございました。

【司会】

それでは、議論は尽きませんが、お時間となってしまいました。今年度は緊急事態宣

言の発令のため、部会の中止が度重なり、大変ご迷惑をお掛けしました。2年という任期ではございましたが、十分な協議ができなかった部分もあり、大変申し訳ありませんでした。

今後の予定といたしましては、2月28日月曜日に行われる本会議に、協議された内容を今期の活動の報告として、部会長からお伝えさせていただきます。

委員の皆様には、後日、本日の議事録をお送りし、訂正箇所を修正後に足立区ホームページに掲載させていただきますので、よろしくお願ひします。

本会議の記録については、今期のまとめと合わせ、あらためてお送りさせていただきます。

以上を持ちまして、足立区地域自立支援協議会こども部会を終了させていただきます。昨年度より委員をお願ひし、お忙しい中協議会にご参加いただいたこと、大変感謝しております。ありがとうございました。

私も皆様からのご意見を聞かせていただく中で、大変に勉強になりました。連携というテーマがはっきりと見えたこと、今後どう進めていくかを考えていくことへの道筋が見えてきたと思います。この2年間の検討の成果を持って、足立の子どもたちのために活かしていきたいと思ひます。

あらためて委員の皆様には2年の期間、お忙しい中ご出席いただき、本当にありがとうございました。お帰り際にはお忘れ物などないようお気を付けください。それでは失礼いたします。